

今週は始業式です



先週は、終業式で、子どもたちは通知表をご家庭に持ち帰ったと思います。それぞれの家庭で前期の振り返りを親子でなさったことでしょうか。お子様の成長が見られたものもあれば、伸び悩んでいるところもあったかと思います。大事なことは、前期の課題を後期にいかにして克服していくかが大切です。過去は変えられませんが、未来は変えられます。先週の終業式の中で、聞くことの大切さを話しました。トップアスリートの子も時代の共通点にたくさんの指導者に会い、素直な心でしっかりと教えるを聞くことがあります。もちろん、吸収したものが自分に合っているかという判断力も必要になると思います。しかし、大事なことは、最初に素直な気持ちで聞くことです。保護者や周りの大人の助言に素直に耳を傾け、努力する子どもたちになってくれることを期待しています。そうすれば必ず子どもたちは、大きく成長してくれると信じています。子どもたちの後期での成長を応援していきたいと思います。

安心安全な学校づくりを目指して

先週、カイクミ中学校にある椰子の木が、突然折れました。通路にある屋根の上に落下し、椰子の実が散乱しました。子どもたちが通過した後でもあり、当日は雨も降っており、そこに待機してる保護者もなく、その後の警察官の対応等で事なきを得ましたが、一歩間違えると大きな事故につながった可能性もありました。改めて、子どもの安全確保のため、最善を尽くしていくことの大切さを感じました。常に、危機意識を持って、子どもたちを見守って行きたいと思います。



来週は小6修学旅行です。

来週は、小6の修学旅行が行われます。JCCHでの茶道体験や日系移民の歴史を学習した後、パールハーバーで平和について学習します。太平洋航空博物館では、フライトシュミレーションの体験もする予定です。子どもたちが、校外で集団行動やマナーを守り、ハワイにおける日本文化や日系人の歴史や文化また平和について、しっかり学習してくれることを期待しています。合わせて、子どもたちの素晴らしい思い出になることを願います。



「優しさ」とは？



昔、学校の成績は、優、良、可、不可という4つの段階で評価されていました。「優」という字は、「すぐれる」と読みます。また、「やさしい」という字を漢字では「優しい」と書きます。「やさしい」と「すぐれる」という2つの言葉が、同じ漢字であることから、やさしいことが最もすぐれているという解釈もできます。

それぞれの性別において、褒め言葉はたくさんあると思いますが、男女共通の最高の褒め言葉が優しさであることはちょっと意外な気がするかもしれません。その優の字は、「にんべん」に「うれう」という字に分けられます。「人のことを憂える、心配すること」が優ということになります。他人のことを憂い、心にかけることが優しさであり、人間として優れたことになるでしょう。英語でも紳士のことをジェントルマンと言いますが、ジェントルも本来の意味は「やさしい」という意味で、世界共通の思いのように感じます。学校という集団生活の中で、子どもたちにも大切にして欲しいものだと思います。本当の意味の優しさを身に付けた大人になれるように、これからも指導していきたいと思います。